



Title	さくらの苗木贈呈
Author(s)	
Citation	makoto. 1975, 10, p. 8-8
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86233
rights	
Note	

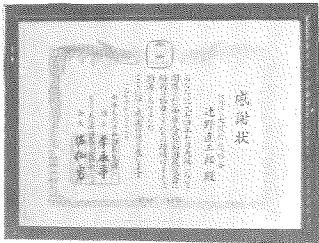
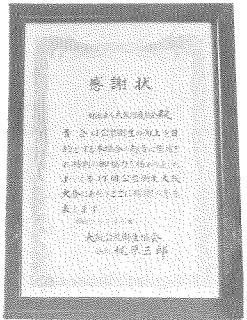
The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

中国展団長から

つぎのとおり感謝状
が辻野理事長に贈られました。



趣意書

当協会理事長辻野直三郎は公
益法人活動の一環としてつぎの
趣意により贈呈した。

当協会も昭和二十二年五月設立以来、防疫業務を通じ公衆衛生の向上に微力ながら尽力いたしましたが、最近の状勢においては「自然環境の保全なくして公衆衛生の向上なし」と痛感いたします。

当協会も昭和二十二年五月設立以来、防疫業務を通じ公衆衛生の向上に微力ながら尽力いたしましたが、最近の状勢においては「自然環境の保全なくして公衆衛生の向上なし」と痛感いたします。

本を入手することができました
ので、甚だ勝手ではありますが
これを皆様方の空地に植えさせ
て戴き、共に育てて「生きた緑」

大阪府農林部のご援助により苗
植樹によつていくらかでも「さくら」の復興に役立てたいと念
願しておりますところ、幸い、

が快適で、健康な生活を営むた
めに、いま、もっと必要なこ
とは「緑の環境づくり」である
と痛感いたします。

大阪府農林部のご援助により苗
植樹によつていくらかでも「さくら」の復興に役立てたいと念
願しておりますところ、幸い、
むかえ、昭和五十年二月五・六
日の両日に大阪府箕面山荘で実
施した。

さくらの苗木贈呈

いたしましたが、近時、我が國
の国花である「さくら」の衰頽
が著るしい現状に鑑み、これが

第一事業部職員研修を
つぎのとおり実施した

大阪府農林技術センター専門術
員奥野孝夫氏を外来講師として

大阪府池田保健所加藤主幹、

第一事業部・着本秀一氏の作
品です。



第一事業部研修風景

編集後記

大阪公衆衛生協会より贈られた
感謝状

近時、急激に人口が都市に集中し、それに伴う大都市周辺部の無秩序な過密化、いわゆるスプロール化現象のため都市環境は急速に悪化し、加えて、これら過密地域においては各種環境整備施設の不足や各種公害による過度性が著るしく失なわれていることは周知のとおりであります。

このような危機に瀕している都市において人間性を回復するためには、都市の安全性、快適性を求める、静かなるおいのある環境において社会生活を確保しなければなりません。

このために、府をはじめ、各市町村が種々の行政を進めていますが、私達府民もできる限りの協力をなす所期の目的達成のため努力する必要があることは

今更申し上げるまでもありません。

この意味において、府民

もとより「緑の環境づくり」は一朝一夕に成るものではなく、長い年月、府や市町村、団体、それにも府民全部が力を合わせなければ、容易に達成できる事業ではありません。

従いまして、今後遙々ではありますかが当協会も継続してこの事業を推進する所存でありますので、皆様方のご指導、ご援助、ご協力を願い申し上げます。

先づ、今年度の「緑の環境づくり」の一端として、從前から

冬をじつと耐え、待ちかねた爛漫の春をたたえて咲き匂う白百合の花——第一事業部・着本秀一氏の作品です。

▲郷土、なにわの古い文化をしのび、この度それを記念する國立劇場（仮称）が設立される氣運になつたので「まこと」号と共に別冊として「なにわ文華と國立劇場」を特集・発送いたしました。（喜多）

昭和五十年三月

財團法人大阪防疫協会

理事長 辻野直三郎

第一事業部職員研修を
つぎのとおり実施した

大阪府農林技術センター専門術
員奥野孝夫氏を外来講師として

大阪府池田保健所加藤主幹、

第一事業部・着本秀一氏の作
品です。